



教育関連事業に乗り出すビートフリー (名古屋市中区の本社。写真は野阪社)

経営者のための

コミュニケーション心理学

□□1

まな内容をプログラムに盛り込む。作業や実験、開発現場の見学なども交えながら、わかりやすく説明する。主に小学生を対象にする。

野阪社長は「事業を通じ

だ。ポトル表面は赤の背景色などに販路拡大を進める方に、名古屋城のシンボルで針だ。

エス・アイ・エー グローバル人材の育成事業



名古屋市中文化振興事業団に、初代理事長を務めた故(事務局)名古屋市中区・亀山殿氏が3千万円を寄附し、1984年に始まった。芸術創造賞2人決定 名古屋市中文化振興事業団 術創造活動における功績が優れ、今後愛さん(44)と、ソプラノ歌手の加藤恵利子(40)が受賞した。

本年度は、能楽師の衣斐愛さん(44)と、ソプラノ歌手の加藤恵利子(40)が受賞した。桐山氏は関ヶ原町出身。1943年に第13期海軍甲種飛行予科練に入隊し、松山や宇和島、宇佐などの各航空隊で軍務を担った。戦

「日本では熱意あふれる社員が6%しかない」と。昨年話題となった、米

国ギヤラップ社のエンゲージメント調査から明らかになった事実です。この調査は、世界各国の企業に勤める従業員を対象としたもので、日本の6%は、米国の32%と比べて圧倒的に低く、調査した139カ国中132位、最下位クラスであるという驚くべき内容です。

エンゲージメントと柔軟性に乏しく、

熱意あふれる社員が少ない日本

上意下達や一方通行型マネジメントへの配慮もあり、本音でのコミュニケーションは難しい。このため、職場のストレスは高まる傾向にあります。また、近年のコンプライアンスや忖度(そんたく)する文化の影響で、内外に向けての調整的な部分最適、短期最適に陥

エンゲージメントが年々低下

仕事が多く、社会の利益につながることを、会社の向かっていくベクトル、個人の成長について、自分自身が理解して前に進んでいくという実感が湧きにくい世の中にあります。思考様式や価値観の多



経済学修士。ものづくりで発展したデータ・サイエンスの技術を人材育成に活用。こころの知能指数と呼ばれるEQの成長や、ASEAN進出におけるコミュニケーションギャップを解決するための研究を続けている。瀬戸市出身。38歳。

【加藤滋樹 プレジデントワンコミュニケーション・アナリスト】 毎週土曜日に掲載